

三宿病院脳神経外科における臨床研究と学会又は学会誌への報告のご案内

三宿病院脳神経外科では三宿病院倫理委員会の承認を得て、「コラーゲンマトリクスによる硬膜形成後の新生硬膜の進展度の検討」の臨床研究を行うことになりました。外傷や脳血管障害にて減圧開頭術を行った際に、硬膜形成にコラーゲン製人工硬膜（コラーゲンマトリクス：DuraGen®）を使用することが増加しています。また患者さんの状態が落ち着いた後は、骨等を戻す頭蓋形成術を行うこととなります。頭蓋形成術時の所見から、自家硬膜の様子を把握することで、新生硬膜がどのような期間で進展していくかを検討することが本研究の目的となります。

対象は2019年9月以降当院において減圧開頭時にDuraGen®にて硬膜形成を行い、その後頭蓋形成術を行った方。診療録（カルテ）もしくは手術記録から抽出したデータを解析します。研究に用いられる情報は、年齢、性別、原疾患、減圧開頭から頭蓋形成術までの期間、頭蓋形成術時の新生硬膜の様子であり、お名前、住所など、個人を特定できる個人情報には削除して管理いたします。また今回の研究で得られた成果を、学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。しかしながらご自身の臨床情報を研究に使用しないでほしいというご希望や他のお問い合わせ等がございましたら、三宿病院庶務課までご連絡ください。